

事業戦略：航空・防衛・宇宙



準天頂衛星「みちびき」を搭載したH-IIAロケット44号機

現状認識

強み S	民間航空機	<ul style="list-style-type: none"> 民間航空機のバリューチェーン全域をカバーする事業領域（構造Tier1、完成機、アフターマーケット） 複合材主翼等の大型構造部材の設計・製造技術 1,000機以上の運航機数を擁する機体（CRJ）の整備事業基盤
	防衛・宇宙	<ul style="list-style-type: none"> 防衛・宇宙製品の開発で培った先端技術 防衛：統合防衛システム提案力、国際共同事業のノウハウとチャンネル 宇宙：ロケットならびにロケットエンジン開発力、世界最高水準の信頼性
弱み W	民間航空機	<ul style="list-style-type: none"> 民間航空機の事業ポートフォリオ・サプライチェーンの偏り 海外顧客中心のため為替変動への感応度が大きい
	防衛・宇宙	<ul style="list-style-type: none"> 防衛：輸出案件の経験が少ない 宇宙：世界市場におけるコスト競争力
機会 O	民間航空機	<ul style="list-style-type: none"> 旅客需要の長期的な成長に応じた新造機および整備需要の成長可能性 エアラインの運航に対する総合的な支援ニーズの高まり 脱炭素・電化等の環境適応のための革新的技術ニーズの増大
	防衛・宇宙	<ul style="list-style-type: none"> 防衛：防衛装備移転三原則の閣議決定 閣議決定された「骨太の方針2022」にて、国内の防衛生産・技術基盤を維持・強化する観点を一層重視する方針が明記され、それを踏まえて現行の「防衛計画の大綱」「中期防衛力整備計画」が改定される見込み 宇宙：安全保障分野での宇宙利用を含む衛星利用ニーズの増大に伴う打上げ市場の拡大
脅威 T	民間航空機	<ul style="list-style-type: none"> 紛争、経済危機、疫病、天変等のイベントリスクによる旅客需要減の影響を受けやすい事業環境 グローバルな業界再編とそれに伴う競争の激化
	防衛・宇宙	<ul style="list-style-type: none"> 防衛：装備品の海外調達増加による国内正面装備予算の減少 宇宙：海外衛星打上げの米国新興企業参入による価格破壊のおそれ

2021年度の概況と2021事業計画における事業施策

防衛航空機や飛しょう体、艦艇等の防衛関連製品が増加したことなどにより、連結受注高は、前年度を上回る7,742億円となりました。売上収益は、民間航空機や飛しょう体、宇宙機器が減少したことなどにより、前年度を下回る6,052億円となりました。事業利益は、固定費削減等のコストダウン施策の効果や三菱スペースジェット関連費用が減少したことなどにより、前年度から改善して200億円となりました。

民間航空機分野では、構造Tier1事業において、売上規模に見合った固定費削減等の損益改善策を継続するとともに回復期に向けて、生産性向上とサプライチェーンの強化など、高収益生産基盤の構築に取り組みます。また、これまで培ってきた複合材加工技術等を活かし、新規プログラム参画へ向けた取り組みを進めています。アフ

ターマーケット事業においては、CRJをはじめとする既存のMRO^{※1}事業のさらなる生産性向上に加え、新たにコンポーネント修理事業等の提供による規模拡大と収益力向上を図ります。SpaceJet事業については、引き続き事業環境の整備に努めていきます。

防衛分野では、世界水準の製品の提供を通じて安定的な事業運営を続けながら、指揮統制や無人機システムなど新たな事業領域への拡大を図ります。同時に、培ってきた技術等を活用し、MRO&U^{※2}、教育・訓練等の周辺分野の拡大、海外事業の拡大、および高度セキュリティに係る民生分野への展開を進めていきます。また、宇宙分野においては、低価格かつ信頼度の高い打上げ輸送サービスを実現するH3ロケットの開発を進めています。

※1 MRO: Maintenance, Repair and Overhaul

※2 MRO&U: Maintenance, Repair, Overhaul, and Upgrade

2021事業計画における事業施策

民間航空機	構造Tier1事業		<ul style="list-style-type: none"> 売上規模に見合った固定費削減等の損益改善策の継続 複合材技術、自動組立技術を活用した新規プログラムへの参画
	アフターマーケット事業		<ul style="list-style-type: none"> 整備格納庫の拡充とコンポーネント修理の拡大
	SpaceJet事業		<ul style="list-style-type: none"> 事業環境の整備 獲得したナレッジ・ノウハウの活用
防衛・宇宙	国内既存分野・周辺分野の拡大	既存分野	<ul style="list-style-type: none"> 次期基幹事業の着実な推進(次期戦闘機、H3ロケット) 指揮統制、M&S^{※3}等の分野拡大
		周辺分野	<ul style="list-style-type: none"> 維持整備分野でのMRO&U、教育・訓練事業の拡大 新たな周辺分野への進出(宇宙(衛星データ利用等)、サイバー、無人機等)
	海外事業拡大	国内装備品コンポーネントの海外装備品への適用	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業で培った海外メーカーとのチャネルを活用 企業間協議と並行して政府と連携
		国際共同開発事業	<ul style="list-style-type: none"> 同盟国との共同開発事業の立ち上げ(政府支援) 共同開発事業への参画
デュアルコース展開事業の確立		<ul style="list-style-type: none"> 防衛・宇宙事業のコア技術を活用 セキュリティ(安全・安心)分野を中心に民需展開(サイバーセキュリティ、警戒監視、広域状況把握) 	

※3 M&S: Modeling and Simulation